

# よきじゆう

木城町広報誌

1月  
2020年

木城町

Kijo town Publicity papers

令和2年1月号 No.383

## INDEX

### 【特集】

令和2年新年のごあいさつ	P 2
2019年(平成31年・令和元年)木城町10大ニュース	P 4
乗ってみらんね!?あおぼと号!!	P 6
コミュニティ助成事業・第35回木城ふるさとまつり花火大会	P 7
地域おこし協力隊が行く!・秋の褒章杉良子さん(恩) 監製褒章受章(社会福祉連)	P 8
民生委員児童委員のご紹介	P 9
まちの話題	P 10
いびぎNo.131	P 14
木城えほんの郷だより・町の人口	P 15

裏表紙

木城夢みる劇団・福智王四十八隊主催「お里まわり」



No.383

情報提供・お問い合わせ先

[Eメール]

machi@town.kijo.lg.jp

ホームページアドレス

[URL] <http://www.town.kijo.lg.jp/>

キャラクター



キャラクター

木城町公式 SNS 開設しました

Facebook

[URL] <https://www.facebook.com/kijotown/>

Instagram

@kijotown

# 令和2年 新年のごあいさつ



木城町長 半渡 英俊

明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。日頃から町政運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

私は、昨年4月の木城町長選挙におきまして、皆様の力強いご支援を賜り、2期目の町政の舵取り役を預かることになりました。1期4年の経験を活かし、引き続き、安心安全なまちづくり、人づくり、より良いまちづくりをとおして、さらなる木城町発展に向けて、誠心誠意、取り組んでまいります。昨年を振り返りますと、世相を漢字一文字で表す漢字は「令」で

あり、5月1日からの新元号「令和」に、新たな時代の希望を感じた1年でありました。8月末に誘致企業の宮崎キヤノン株式会社が高鍋町に全面移転いたしました。マイナスをプラスにという未来志向のもとで、職員及び地域おこし協力隊員の英知を結集し、木城町PRプロジェクト事業に取り組みました。「ないないの町」の広告が「宮日新聞の広告大賞」に輝き、さらに「日本新聞協会の優秀賞」の栄にも輝きました。そして、都心での木城町の山や川、星、緑豊かな自然を活かしたPRや農畜産物販売などを催し、魅力ある地域資源を発信してまいりました。

本年は、さらに先人が築いた自然

豊かな緑と水のまち木城を守り育み、町民協働で、人口は少なくとも、一人一人の幸福度や満足度の高い「人が元氣、地域が元氣、住んで良かった」と思える魅力と活気あふれる町」を目指して、一層努力してまいります。

結びに、令和2年も、町政発展のため引き続き絶大なるご指導・ご支援をお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとって、健康で、平穩で、実り多い良い年になりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



# 令和2年 新年のごあいさつ



木城町議会議長 神田 直人

あけましておめでとございます。  
謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

令和になって初めての正月、新たな気持ちで新年を迎えられている事とお慶び申し上げます。

昨年日本国中、災害の多発した年でありました。

本町においては、大きな被害はなく年始を迎えられておりますが、一昨年の復旧工事がまだ完了されていないままでもあります。

最近の気象状況を考えると、今後も自然災害はあるものと思わざるをえません。南海トラフの備えも必要だと思っております。

被災時の「自助」「共助」「公助」の基本的な助け合いの気持ち

が必要だと思います。

国際情勢を見ますと、「北朝鮮」や「イラン」など深刻な状況は変わりなく、また米中貿易交渉など、わが国に及ぼす経済的な影響が重大だと思えます。

また今年オリンピックの年です。幾多のドラマがあり、幾多の感動が見られるものと思います。日本人としての自覚を改めて思い起こすのではないかと考えます。

議会も昨年、統一選挙があり、3人の新人が議員となりました。それぞれに独自性をもって活動されております。今後に期待するところです。皆様との対話を重ね、町内の産業の活性化を図り、行政のチェック機能を果たすべく、議会

全員で対応してまいりたいと思えます。

議会に対して、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します。



10月  
October

8月  
August

宮崎キヤノン(株)  
高鍋町へ完全移転

宮崎キヤノン(株)が町内にあった旧工場から高鍋町の新工場に完全移転しました。



7月  
July

木城町 PR 広告  
「ないないの町」が  
第 29 回宮日広告賞「大賞」  
第 39 回日本新聞協会広告賞  
「優秀賞」を受賞

平成 31 年 3 月 24 日発行の宮崎日日新聞に掲載された木城町の PR 広告「ないないの町」が、第 29 回宮日広告賞「大賞」と第 39 回日本新聞協会広告賞「優秀賞」をそれぞれ受賞しました。



10月  
October

木城町  
乗合タクシー  
「あおぼと号」の試験運行開始

木城町乗合タクシー「あおぼと号」の試験運行を開始しました。このサービスは、木城町に暮らす高齢者等で車などの移動手段が無い方でも、町内の商業施設や病院等に気軽に行き来するための公共交通サービスです。

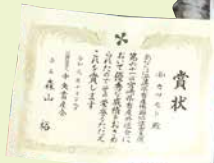


10月  
October

第 61 回  
宮崎県畜産共進会  
肉豚枝肉の部において  
町内の(有)カツモトが  
グランドチャンピオンを受賞

第 61 回宮崎県畜産共進会の肉豚枝肉の部において(有)カツモトがグランドチャンピオンを獲得しました。

今回の肉豚枝肉の部には 26 組が出場しており、代表である椎勝元さんの出品豚は 6 頭中「極上」が 2 頭、「上」が 4 頭と高い評価を受けての受賞でした。



11月  
November

交通事故死ゼロ  
市町村表彰 (3,650 日)

本町は、交通事故死「ゼロ」が 3,650 日以上続いており、交通安全の推進に模範的な自治体として、県交通安全対策本部から表彰を受けました。2009 年 11 月 5 日から死亡事故が発生しておらず、この記録は県内最長です。



11月  
November

杉良子氏が  
藍綬褒章  
(社会福祉功績) を受章

杉良子さんが長年にわたり民生委員として地域住民の福祉向上に貢献したとして藍綬褒章を受章されました。杉さんは、平成 9 年に民生委員・児童委員の任命を受け、以来 22 年に渡り本職務を務められました。副会長職 6 年、会長職 6 年の通算 12 年その要職を務められ、その間、木城町社会福祉協議会副会長を平成 26 年から現在までの 5 年にわたり歴任されています。





# 木城町10大ニュース

昨年、元号が「平成」から「令和」に改元されました。また、以前に引き続き台風や大雨による災害が後を絶たず、10月から消費税の税率が8%から10%に増税されるなどのニュースが取り上げられる一方、ラグビーワールドカップでは日本代表が大健闘し国内を大きく盛り上げました。皆様にとってはどのような1年でしたか？2019年木城町内の出来事を振り返ります。

1月  
January

## 木城温泉館湯らら 入館者数 250 万人達成

木城温泉館湯ららの入館者が250万人を突破しました。

250万人目の入館者は、国富町からご家族で来館された小笠原将さんで、木城町と木城町ふるさと振興協会から花束と記念品が贈られました。



3月  
March

## 木城夢みる劇団 20年ぶりに 劇「千年王国」を上演

木城夢みる劇団が20年ぶりに劇「千年王国・百済王族物語」を3月3日(日)総合交流センターにて公演しました。劇中では、福智王四十八隊の踊りや木城夢みるコーラスの歌なども披露され会場を盛り上げ、町内外の多くの方に町内に伝わる「百済王伝説」をPRすることができました。

また、2020年10月から12月に開催される国民文化祭・みやざき2020にて再演が決定しています。



5月  
May

## 福智王四十八隊が 令和元年度宮崎県 地域づくり顕彰「奨励賞」を受賞

宮崎県内で地域振興に関し特に功績のあった団体として、福智王四十八隊が第24回宮崎県地域づくり顕彰「奨励賞」を受賞しました。福智王四十八隊におかれましては、地域に伝わる「百済王伝説」を題材にしたオリジナルの歌と踊りを四方八方に広げる活動を通じて、幅広い世代が交流し楽しむことのできる新しい地域文化の創造に取り組み、郷土の歴史の伝承や地域の絆づくりに貢献した功績が高く評価されたの受賞となりました。



## お笑いコンビ 「チキンナンゴ」が 木城町ふるさと大使に就任

宮崎住みます芸人で木城町見習いPR大使のお笑いコンビ「チキンナンゴ」が正式に木城町ふるさと大使に任命されました。

今年は、盆踊り大会やふるさとまつりでMCを務め会場を盛り上げたり、動画投稿サイトYouTubeにて「KIJOTV」と題し木城町を紹介する動画を投稿するなど木城町のPRのため大変尽力していただきました。





# 乗ってみらんね!? あおぼと号!!

木城町乗合タクシー「あおぼと号」が試験運行を開始して2カ月が経過しました。現在の登録者数は約320名と多くの方にご登録・ご利用いただいております。

今回は、実際にあおぼと号をご利用いただいている町民の方にあおぼと号を使っての感想を伺い、そこから見えてきた「あおぼと号」の今後の展望について考えてみました。

## 田中 ヒデ子さん(81歳・木寺)

**Q: あおぼと号が運行を開始する前の移動はどうされていたのですか？**

A: 電動自転車を使って買い物等に出かけていましたが、足の調子が悪くなってからは自転車にも乗れなくなってしまい、近くに住んでいる家族に協力してもらいながら外出していました。

**Q: あおぼと号を使っての感想は？**

A: スーパーや金融機関・菜っ葉屋などに出かける時に使わせていただいております。一乗車200円で送り迎えしてもらえるのでとても便利です。自宅の玄関先まで来てくれるので、買い物などで荷物があるときでも移動が楽で気軽に利用できます。

**Q: あおぼと号を利用するようになってからの生活はどうか変わりましたか？**

A: 足が悪くなってからは外出の回数も減っていましたが、あおぼと号が運行開始してからは自分で気軽に外出できるようになりました。買い物などが便利になったのはもちろん、最近は減っていた人との交流も増え大変助かっています。待ち時間で空を眺めたり、鳥のさえずりを聴いたりといった時間を楽しむのもいいですね。

「外出して人と交流することが何よりの生きがい」との田中さんの言葉の通り、あおぼと号は、免許証を返納するなどして移動が困難な方の「移動支援」はもちろん、外出をすることによる「健康増進」や「介護予防」・「地域コミュニティへの参加」など多くの役割を担っていることを改めて認識できました。

木城町乗合タクシー「あおぼと号」は、単なる「移動支援のツール」ではなく「新たな生きがいの創出」のお手伝いもいたします。新たな発見があるかも？一度、乗ってみらんですか？

田中さん、インタビューにご協力いただきありがとうございました！

### 【あおぼと号に関するお問合せ】

利用者登録申請に関すること: 木城町役場 まちづくり推進課企画調整係 電話 0983-32-4727

あおぼと号乗車の予約: MR 交通(株) 電話 0983-32-0183



..... **コミュニティ助成事業** 東京都新宿区・宮崎市・木城町  
宝くじの社会貢献広報事業を利用して日本酒PRイベントを行いました。

一般財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」を活用し日本酒のPRイベントを行いました。

木城町では、友情都市である埼玉県毛呂山町に本社を置く麻原酒造様と共同で、木城町産日本酒用米を使用したオリジナルの日本酒を造る『日本酒プロジェクト』に取り組んでいます。「純米吟醸酒～城～」[スパークリング日本酒アラバンス]の2種類を展開中です。日本酒はふるさと納税の返礼品とするほか、町内小売店で販売しています。ぜひともこの機会にオリジナルの日本酒を味わってみてはいかがでしょうか。

～コミュニティ助成事業とは～



一般財団法人自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進および活力のある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための「コミュニティ助成事業」を行っています。



新宿みやざき館KONNE (東京都新宿区)で行われた日本酒PRイベントの様子  
(令和元年7月20日、21日開催)



まつり宮崎(宮崎市)で行われた日本酒PRイベントの様子  
(令和元年8月17日、18日開催)



木城町ふるさとまつり(農林業まつり)で行われた日本酒試飲会の様子  
(令和元年10月19日開催)

..... **第35回木城ふるさとまつり花火大会** .....

今年も木城ふるさとまつり花火大会が10月19日(土)に開催されました。

今回は、まつりMCを木城町ふるさと大使のお笑いコンビ「チキンナンゴ」が務め、各種団体によるステージショーや地場産品のふるまい・販売などが行われ、今回でファイナルとなった人間萬歳歌合戦では各出場者がこれまで練習してきた歌を熱唱し会場を盛り上げました。最後には、打ち上げ花火3,000発が木城町の夜空に打ち上げられ幕を閉じました。



## 地域おこし協力隊が行く！



木城町の皆様、こんにちは。木城町地域おこし協力隊の神田です。

今回は12月1日に開催された「お里まわり」についてお話したいと思います。

お里まわりと聞いて、なぜ12月にお里まわりがあるのかと思う方もいらっしゃると思いますが、今回開催されたお里まわりは、町内を練り歩く、町民参加型の新たなイベントとして、木城夢みる劇団と福智王四十八隊を中心に行なわれました。

今年が初開催ということで、町民の皆様の中にはこういったイベントが開催されていたことをご存知なかった方もおられると思いますが、今後も継続的にこの練り歩きを実施していきたいとのことでしたので、今年参加ができなかった方はぜひ来年ご参加いただければと思います。

今年の練り歩きの様子は、より多くの方に知っていただくため動画を作成してYouTubeなどで公開していければと思っておりますので、気になった方はぜひ一度ご覧いただければ幸いです。

Facebook [宮崎県木城町観光協会](#)

Instagram [@kijokankou](#)

ホームページ [【木城町観光協会】](#) で検索

URL:[kijokanko.com](http://kijokanko.com)

隊員 神田憲裕



## 秋の褒章 杉良子さん(田畑) 藍綬褒章受章(社会福祉功績)

令和元年秋の褒章が発表され、杉良子さんが長年にわたり民生委員として地域住民の福祉向上に貢献したとして藍綬褒章を11月3日付で受章されました。

杉さんは、平成9年に民生委員・児童委員の任命を受け、以来22年にわたり本職務を務められました。副会長職6年、会長職6年の通算12年その要職を務められ、その間、木城町社会福祉協議会副会長を平成26年から現在までの5年にわたり歴任されています。

持ち前の責任感で委員の育成・指導に当たられる一方、地域の高齢者や子供たちを見守り、住民の困りごとを察しては、解決に導いてこられました。

また、平成9年から23年間木城町更生保護女性会に所属し、会長職を11年歴任するなど、地域と積極的に関わられ、青少年の健全育成や更生保護にも大きく貢献されました。





# 民生委員児童委員のご紹介

民生委員児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受けて、地域住民の福祉向上のために、住民からの様々な相談に応じたり、援助を必要とする方々の自立更生を手助けするなどの職務を担っています。12月1日付けで15名の委員に委嘱状が交付されました。

任期：令和元年12月1日から令和4年11月30日まで（3年間）

会長



すぎりょうこ  
杉良子さん(田畑)

担当地区

田畑、一向瀬、重木、  
四日市

副会長



なかたけはるお  
中武春男さん(中之又)

担当地区

大字中之又全域

書記



たにおかふさたか  
谷岡總孝さん(中川原)

担当地区

中川原、中河原住宅、  
向河原住宅、向河原団地、  
立山団地、コスモス住宅



すぎた かずみち  
杉田和文さん(出店北)

担当地区

出店北、出店東、出店南、  
出店西、池田住宅、池田



いまちょうあけみ  
今長明美さん(中椎木)

担当地区

中椎木、岩渕上



まつだしげのぶ  
松田茂信さん(岩渕下)

担当地区

岩渕下、中島団地、比木



すぎおやすお  
杉尾康雄さん(中原)

担当地区

陣之内、牧之内、中原、  
溜水、百合野、友愛社



すぎた ひろし  
杉田博さん(御池)

担当地区

町上、町下、平城、在南、  
湯屋ヶ坂、立小路、横小路、  
御池

監事



いけべけいこ  
池部敬子さん(田神)

担当地区

高城住宅、下鶴、田神

監事



ひらつかよしひろ  
平塚好博さん(仁君谷)

担当地区

岩戸、新岩戸、駄留、  
仁君谷、木寺、北山、  
岸立団地



ながともまさこ  
永友政子さん(白木八重)

担当地区

白木八重、川原、櫛野



ながともみさこ  
永友美佐子さん(石河内本村)

担当地区

上河内、石河内本村、鳥子、  
石河内住宅



なかたけよしかず  
中竹義一さん(浜口)

担当地区

谷内、浜口、中八重、春山、  
鵜懐



くろきむつこ  
黒木睦子さん(櫛野)

主任児童委員



かねながまみこ  
金永真美子さん(中椎木)

主任児童委員

≪ 木城町民生委員児童委員協議会事務局 ≫

木城町社会福祉協議会 電話 32-2114



## 木城町PR広告 日本新聞協会広告賞「優秀賞」受賞

平成 31 年 3 月 24 日に宮崎日日新聞に掲載いたしました、木城町 PR 広告「ないないの町だけど」が、日本新聞協会新聞広告賞「優秀賞」を受賞し、令和元年 10 月 24 日(木)に東京プリンスホテルで開催された授賞式に出席いたしました。

※本広告は、先に行われました令和元年度宮日広告賞では大賞を受賞しております。



壇上にて受賞を受ける半渡町長

「自虐的なコピー」と「赤ちゃんのビジュアル」のみで町の魅力を訴えた斬新な広告手法が高く評価され、宮崎県内市町村としては初、大手企業に肩を並べての受賞に湧きました!!



受賞広告



賞状及びトロフィー

## 第25回東京木城会開催!

～今回も楽しい会となりました～

関東近郊に在住している本町出身者で組織する「東京木城会」の第 25 回総会が、11月 17日(日)東京都内のホテル「ルポール麹町」で行われました。この会は、会員相互の親睦と情報交換の場として、平成 7年(1995年)に発足し、年 1 回、総会と交流会を開催しています。今回は会員・来賓・木城にゆかりのある方等、41 名の参加がありました。

交流会では、木城町ふるさと大使チキンナゴーによるお笑いライブや会員の黒木房子さんお手製手帳の争奪じゃんけん大会といった催しがあり、各テーブルでは思い出話が盛り上がり、和やかな雰囲気での交流を深めることができました。

なお、令和 2 年度からは名を「関東木城会」に改め、更なる会の活性化が図られます。今春、関東近郊に進学される方や就職される方、一緒に活動してみませんか!





## きじょう学園コスプレ祭開催



11月17日(日)に団体宿泊施設「いしかわうち」にて開催されました。アニメキャラクターになりきったコスプレイヤーやカメラマンが約300人参加し、写真撮影やカラオケ大会などを楽しみました。写真撮影は旧石河内小学校である宿舎と体育館を利用して行われました。

## 交通事故死「ゼロ」市町村表彰



木城町が交通事故死「ゼロ」の継続期間が3,650日に達したとして、11月21日(木)に県交通安全対策本部より表彰を受けました。現在、県内の交通事故死「ゼロ」を継続している市町村で木城町は最長になっています。

これから日没時間が早くなりますので、ドライバーは早めのライト点灯、夜間の歩行者は反射材着用を心がけましょう。

## 木城町消防団冬季合同訓練

12月1日(日)に木城町消防団の冬季合同訓練が行われました。

今回の訓練は宮崎県防災救急航空センター・東児湯消防組合の協力により、町内2会場での開催となりました。

訓練内容は、山塚運動広場にて林野火災を想定した緊急招集や、県の防災ヘリ「あおぞら」に対する着陸誘導・中継送水を実施した後に、火災延焼状況を確認するため消防団員が上空からの情報収集を行いました。

その後、石河内春山地区に訓練会場を移動し、春山地区が災害により孤立したことを想定し要救助者を防災ヘリ「あおぞら」にて救出する訓練を実施しました。

これから空気が乾燥し、火災が発生しやすい日が続きますので、火の取り扱いには十分注意しましょう。





## 百済王伝説「お里まわり」開催

12月1日(日)に木城夢みる劇団・福智王四十八隊主催の「お里まわり」が行われました。

この行事は、木城夢みる劇団・福智王四十八隊及び各種団体が町内を練り歩くもので、10時に比木神社を出発し、JA児湯木城支所でぜんざいのふるまいや各団体による踊りの披露が行われ再び比木神社に戻るというものでした。



また、沿道には「お里まわり」を見ようと多くの方が訪れ、練り歩く方々に声援を送りました。

## 選挙出前授業を実施

～給食選挙で投票体験～

木城町選挙管理委員会(田爪一男委員長)は、政治や選挙を身近に感じてもらい若者層の政治参加への啓発を図るため、11月29日(金)木城中学校にて3年生42名を対象に出前授業を実施しました。

授業の前半は選挙管理委員会の佐々木書記による選挙制度についての講義、後半は町選管委員と総務財政課職員が投票管理者・投票立会人・事務従事者を務め、模擬選挙『木城中学校3年生給食選挙』を行いました。『木城中学校3年生給食選挙』は、中学校生活最後(令和2年3月16日)の給食を投票により生徒自身が決めるというものです。投票に際しては、選挙で実際に使用している投票箱や記載台等を用いて実際の投票所に近い環境を作り、実際の選挙と同じ『投票』を体験していただきました。今回は、「揚げパンセット」と「チキン南蛮バーガーセット」2つのメニューが立候補し、投票結果は「揚げパンセット」22票、「チキン南蛮バーガーセット」20票、「無効票」0票で、『揚げパンセット』に決まりました。生徒の皆さんは、この出前授業により選挙を身近に感じていただけたようです。



## 第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会 「U18花園女子15人制」出場者激励

第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会「U18花園女子15人制」に出場される高鍋高校3年平田愛美さん(溜水)の激励会が行われました。平田さんは大会出場にあたり、「ワンチームの司令塔になれるよう頑張ってきたいです。」と意欲を述べました。

また、平田さんはニュージーランドで開催される「World School Sevens NZ」の大会遠征メンバーにも選出されており、全国で選出された12人の中の1人として頑張ってきたいと意気込みを話されました。





## 「こころのプロジェクト『夢の教室』」開催！



日本サッカー協会の協力を受け、町が実施する「こころのプロジェクト『夢の教室』」が10月21日(月)に木城小学校で開催されました。『夢の教室』通称“ユメセン”は、平成22年度から始まり今年で10回目となりました。今回の“ユメセン”は、宮崎県出身で全日本総合バスケットボール選手権大会で7度優勝を果たした女子バスケットボール選手の川面 茜さんが先生を務めました。

木城小5年生を対象に行われ、前半は講堂でゲームをしながら、みんなでひとつの目標達成を目指し、チームが団結することの大切さを学ぶ内容。後半は教室で「トークの時間」。川面先生がバスケットボールに出会ってから全日本バスケットボール選手権大会で7度の優勝を果たすまでの道のりを紹介。「チャンスは全員に平等にある。それをつかむかどうか行動に起こすことが大事です。」と話されました。最後に、子どもたちがそれぞれの将来の夢とそれに向かってどう行動するかを発表しました。



## 令和元年度『木城町環境美化功労者表彰』 受賞者のご紹介



○個人の部 橋本 定男 様 (石河内本村地区)  
○団体の部 石河内老人クラブ 様  
(会長: 黒木八重子様《写真》)

多年にわたり、石河内本村地区において、様々なお花の植栽を通して、道行く方々の目を楽しませていただいているなど、環境美化や景観形成活動にご尽力をいただいております。長年の活動に感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

## 活力と潤いに満ちた生きがいと魅力あるまちづくり

### 生涯学習のつどい大会

大会主題を「いきいきと学び、心豊かなまちづくりをめざして」として、11月2日(土)総合交流センターリバリスホールにて開催されました。

内容は、武者小路実篤の詩を引用し、町内の個人・団体を表彰した讃嘆式、伝統芸能や小中学生による実践発表、教育アドバイザー 下地敏雄氏による講演等であり、今回も生涯学習の振興に繋がる大会となりました。

讃嘆式対象者	
木城町自治公民館連絡協議会讃嘆	岩淵自治公民館
	川原自治公民館
木城町生涯学習推進協議会讃嘆	木城町文化協会
	永友 京子(故人)
木城町青少年育成町民会議讃嘆	谷岡 潔(岸立住宅)
	森 惺士朗(重木)(小6)
	中下 大和(比木)(中3)
	福智王四十八隊
木城町体育協会讃嘆	日下部 哲也(四日市)



讃嘆式



比木神社神楽奉納



木城小4年生による合奏



下地敏雄氏による講演

### 生涯学習講座「絵手紙教室」

西都市在住の子安美和子様を講師に迎え、2回に分けて開催しました。

初めての方でも分かり易く説明され、実際に絵手紙を作成する内容で、受講生の皆様は楽しく学習することが出来ました。

絵手紙教室の様子▶





## 芸能発表大会

木城町文化協会(会長 長友君子)主催の芸能発表大会が11月4日(月)総合交流センターリバリスホールで開催されました。今大会は当協会が創立40周年という大きな節目を迎え、これまでの長きに渡る活動が反映された充実した大会となりました。

今後とも、本町の文化振興の中心的な団体として当協会の積極的な活動に期待いたします。



コーラス発表



箏発表

## 第44回女性のつどい大会

木城町地域婦人連絡協議会、JA児湯木城支部女性部、木城町商工会女性部の各女性団体で構成されている木城町女性団体連絡協議会(会長 甲斐恵子)の主催で開催されました。

今回は「昭和・平成・令和 未来へ続く食文化 みんなと歌おう青春のメロディー」をテーマとし、昭和から現代までの歌謡曲を唄う演奏会や各団体の皆様が「かしの実コンニャク」や「たけのご寿司」等手作りの郷土料理を振る舞うなど充実した内容の大会となりました。



甲斐会長によるあいさつ



大会の様子

### 九州の神楽シンポジウム 2020

日時: 令和2年1月18日(土)、19日(日) 13:00~17:00

会場: メディキット県民文化センター演劇ホール (宮崎市船塚3丁目210番地)

入場料: 無料 (要事前申込)

19日(日)には、木城町の「中之又神楽」が神楽公演で出演します。中之又神楽は、平成29年に国選択無形民俗文化財に指定された「米良山の神楽」の一つです。是非、会場をご覧ください。

#### お問い合わせ

電話: 0985-22-1122 (大会事務局)

FAX: 0985-22-1128

WEB <http://www.umkag.com/kagura.php>

※応募締切 2020年1月14日(火) 必着

# くらやみ探検隊 くらやみと火のまつり

2020年2月1日(土) ~ 2日(日) [1泊2日]



みなさんは、  
真っ暗な森の中を歩いたことはありませんか。  
冷たく澄んだ空気の中で、  
新月の夜、微かな星明かりだけを頼りに、  
耳をすませ、全身を目にしてすすむ森の中。  
あたたかな火を囲み、  
昔ばなしを楽しみ、みんなで語らう。  
冬の森の探検に出かけてみませんか。

参加費 (入場料込み)	
大人	6000円
小中高生	3000円
幼児(4才以上)	1000円

## えほんの郷のコレクション アジアの時と光 展

2020年1月3日(金) ~ 2月2日(日)

木城えほんの郷の新春は、  
アジア照葉樹林帯に位置するえほんの郷が集めた、  
多様な物語絵の歴史と伝統を背景に持つ、  
アジアの土の香りのする絵本をお届けします。  
どうぞ、お楽しみください。



## 原初の想い ミロコマチコの世界

2020年2月8日(土) ~ 4月5日(日)



ミロコマチコワークショップ  
2020年3月15日(日)

お問い合わせ・申し込み

木城えほんの郷

〒884-0104 宮崎県児湯郡木城町石河内475

TEL 0983-39-1141 FAX 0983-39-1180 E-mail: ehon@kijo.jp

### 木城町の人口 (令和元年12月1日現在)

■人口: 5,004人 (先月比-8人) 男: 2,292人 (-5人) 女: 2,712人 (-3人)  
■世帯数: 1,944世帯 (先月比-5世帯) ■町面積: 145.96km<sup>2</sup>